

ベタな薬ほど、効く。

てんさい用茎葉処理除草剤

**ベタナール<sup>®</sup>乳剤**

®はバイエルグループの登録商標です。

ベタナール乳剤は、てんさい用除草剤です。直播てんさいの子葉展開期から使用可能になりました。

# ベタナール<sup>®</sup>乳剤

農林水産省登録：第22019号  
 有効成分：フェンメディファム 14.7% 除草剤分類 5  
 毒性：普通物 (毒物・劇物に該当しないものを指している通称)  
 規格：600ml×20 1.8ℓ×10 5ℓ×4

- 非ホルモン型、接触型の除草剤で、莖や葉から吸収されて雑草を枯殺します。
- 莖葉処理剤のため土壌条件、特に土壌水分の影響を受けづらく、安定した効果を得られます。
- 移植てんさいでは育苗期間に、**直播てんさいでは子葉展開期から使用可能です。**
- 5ℓの大型規格もあります (専用ノズル付き)。

## 適用内容 (抜粋) 令和2年11月現在

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量		本剤の使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
てんさい (移植栽培)	一年生及び 多年生雑草	移植活着後、中耕後 (雑草発生前期) 但し、収穫60日前まで	500~600ml	50~80ℓ	3回以内	雑草莖葉散布 又は全面散布
		育苗期の本葉展開後 (雑草発生初期)	1.5ml/ ペーパーポット6冊 (0.75ml/m <sup>2</sup> )	300ml/ ペーパーポット6冊 (150ml/m <sup>2</sup> )		
てんさい (直播栽培)	一年生 広葉雑草	第2本葉展開後、中耕後 (雑草発生前期) 但し、収穫60日前まで	500~600ml	50~80ℓ		
		子葉展開期~本葉抽出期 (雑草発生前期) 但し、収穫60日前まで	150~200ml			

フェンメディファムを含む農薬の総使用回数：3回以内

### 上手な使い方 (移植栽培)

育苗期	移植活着後	中耕後など 2回目以降
ベタナール 1.5ml/6冊	ベタハーブ 600ml	ベタハーブ 600ml

### 上手な使い方 (直播栽培)

子葉展開期	第2本葉 展開後	中耕後など 2回目以降
ベタナール 150~200ml	ベタハーブ 500ml	ベタハーブ 500ml

### 注意事項

- 雑草莖葉にかかるよう、まきむらのないように均一に散布してください。
- 本剤は、雑草の莖葉処理剤なので、雑草の発生後に処理してください。但し、雑草が大きくなると効果が劣るので適期散布につとめてください。
- 使用量にあわせて薬液を調製し、使いきってください。
- 育苗期以外の処理においては、散布直後に降雨が予想される場合には使用をさけてください。
- 本剤は、希釈水量が多いと効果が低下するので希釈水量を遵守してください。なお、展着剤は「てんさい (直播栽培)」の「子葉展開期~本葉抽出期」では加用しますが、その他の使用は必要ありません。
- 育苗期以外の処理においては、散布の際は効力低下をさけるため、噴板の穴径が0.8mm以下の噴霧ノズルを使用してください。
- 育苗期の処理に当っては、次の事項を遵守してください。
  - (ア) 散布の際には加圧式噴霧器またはこれと同等の散布器具を使用してください。
  - (イ) 高温時に散布すると薬害が発生するおそれがあるので、高温時の処理はさけてください。
  - (ウ) 散布の際には、噴口を苗から30cm以上離してください。また、二度がけは行わないでください。
  - (エ) 噴霧器は必ず洗浄してから使用してください。

- (オ) 育苗床の土壌が乾燥していると効果が劣る場合があるので、本剤の散布前日に散水し、育苗床を湿らせておいてください。
- てんさい以外の作物には薬害が生じるおそれがあるので、てんさい以外の作物に飛散しないように注意してください。
- 本剤は自動車、カラートタン、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液が飛散しないように注意してください。
- 散布器具や容器は十分に水で洗い、洗浄水は河川等に流さず環境等に影響を与えないよう安全に処理してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合は、直ちに石けんでよく洗い落してください。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●小児の手の届く所には置かないで下さい。



技術普及課/北広島市北の里27番地4 TEL: 011-370-2280



ベタな薬ほど、効く。

てんさい用茎葉処理除草剤

# ベタナール®乳剤

®はバイエルグループの登録商標です。



# 超大型

# [180ℓ]

## 新登場

### 適用内容

平成30年3月現在

作物名	適用 雑草名	使用時期	10a当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
てんさい (移植栽培)	一年生及び 多年生雑草	移植活着後、中耕後 (雑草発生前期) 但し、収穫60日前まで	500~600mℓ	50~80ℓ	3回以内	雑草茎葉散布 又は全面散布
		育苗期の本葉展開後 (雑草発生初期)	1.5mℓ/ ペーパーポット6冊 (0.75mℓ/m <sup>2</sup> )	300mℓ/ ペーパーポット6冊 (150mℓ/m <sup>2</sup> )		
てんさい (直播栽培)		第2本葉展開後、中耕後 (雑草発生前期) 但し、収穫60日前まで	500~600mℓ	50~80ℓ		
	一年生 広葉雑草	子葉展開期~本葉抽出期 (雑草発生前期) 但し、収穫60日前まで	150~200mℓ			

フエンシスエフィアムを含む農業の総使用回数:3回以内

ベタナール乳剤は、てんさい用除草剤です。直播てんさいの子葉展開期から使用可能です。

# ベタナール<sup>®</sup>乳剤

農林水産省登録：第22019号  
有効成分：フェンメディファム 14.7%  
毒性：普通物（毒物・劇物に該当しないものを指している通称）  
規格：600mℓ×20 1.8ℓ×10 5ℓ×4 180ℓ×1

- 非ホルモン型、接触型の除草剤で、莖や葉から吸収されて雑草を枯殺します。
- 莖葉処理剤のため土壌条件、特に土壌水分の影響を受けづらく、安定した効果を得られます。
- 移植てんさいでは育苗期間に、直播てんさいでは子葉展開期から使用可能です。
- 180ℓ規格には専用の積み下ろしパレットと溶液排出用のポンプが付属します。

## ～ 180ℓ規格の取り扱い方法と注意事項 ～



- ① 付属の積み下ろし用のパレット（110cm×110cm）上に製品を載せ、フォークリフトで移動してください。移動の際は凹凸のないところを静かに走行してください。
- ② 空気抜きと排出口のフタをペンチ等の工具を用いて開封してください（上の写真は空気抜きフタ）。
- ③ 付属の排出ポンプを利用して、溶液を排出してください。

- ・購入者は積み降ろしのため、フォークリフトを準備してください。
- ・製品の重量が約200kgとかなりの重量のため、保管の際は平らな所に倒れないように設置してください。
- ・本製品は金属ドラムで内容物は乳剤ですので、製品に水がかからない場所に設置してください。
- ・使用後のドラムは産業廃棄物として適切に処理してください。
- ・小型パレットは回収いたしませんので、適切に処理してください。

### 薬剤使用上の注意事項

- 雑草莖葉にかかるよう、まきむらのないように均一に散布してください。
- 本剤は、雑草の莖葉処理剤なので、雑草の発生後に処理してください。但し、雑草が大きくなると効果が劣るので適期散布につとめてください。
- 使用量にあわせて薬液を調製し、使いきってください。
- 育苗期以外の処理においては、散布直後に降雨が予想される場合には使用をさけてください。
- 本剤は、希釈水量が多いと効果が低下するので希釈水量を遵守してください。なお、展着剤は「てんさい（直播栽培）」の「子葉展開期～本葉抽出期」では加用しますが、その他の使用は必要ありません。
- 育苗期以外の処理においては、散布の際は効力低下をさけるため、噴板の穴径が0.8mm以下の噴霧ノズルを使用してください。
- 育苗期の処理に当っては、次の事項を遵守してください。
  - (ア) 散布の際には加圧式噴霧器またはこれと同等の散布器具を使用してください。
  - (イ) 高温時に散布すると薬害が発生するおそれがあるので、高温時の処理はさけてください。
  - (ウ) 散布の際には、噴口を苗から30cm以上離してください。また、二度がけは行わないでください。
  - (エ) 噴霧器は必ず洗浄してから使用してください。
  - (オ) 育苗床の土壌が乾燥していると効果が劣る場合があるので、本剤の散布前日に散水し、育苗床を湿らせておいてください。
- てんさい以外の作物には薬害が生じるおそれがあるので、てんさい以外の作物に飛散しないように注意してください。
- 本剤は自動車、カラートタン、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液が飛散しないように注意してください。
- 散布器具や容器は十分に水で洗い、洗浄水は河川等に流さず環境等に影響を与えないよう安全に処理してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗いし、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合は、直ちに石けんでよく洗い落してください。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- 水量が多くなるほど、また薬液調製後の時間が経過するほど結晶を生じ、ノズルをつまらせるおそれがあるので、薬液調製後は速やかに散布してください。
- 雑草莖葉に、雨露のない時に散布してください。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●小児の手の届く所には置かないで下さい。



技術普及課／北広島市北の里27番地4 TEL：011-370-2280

RE18-04-7T